令和5年2月10日

大船渡湾内観測結果（No.11）

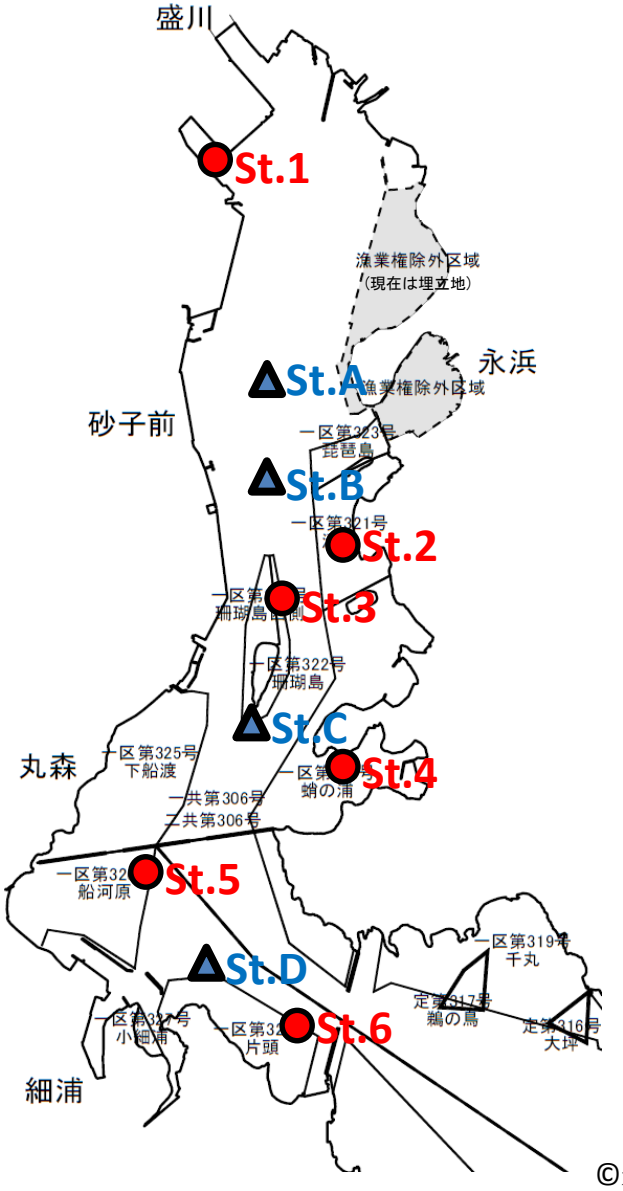
“今月の話題”
　全ての定点で水温が前月より低下し、過去の結果と同程度となりました。
　前月に引き続き、湾内全域で透明度が高い状態にありました。

2月8日に実施した大船渡湾内観測結果をお知らせします。

　全ての定点において、2.5m層及び15m層（St.1においては底層）の水温が前月から1～2℃程度低くなり、過去の結果（2013～2021年度の2月の平均値）と同程度となりました。
　　前月に引き続き、湾内全域で透明度が高く、St.1では海底まで透明度板が確認できました。

海域名：大船渡湾
調査担当：水産技術センター、大船渡水産振興センター、大船渡市

観測点（St.）		1（湾奥）	2（清水）	3（珊瑚島）	4（蛸の浦）	5（船河原）	6（片頭）
観測年月日		令和5年2月8日					
観測時刻		11:56	12:12	11:34	11:08	10:54	10:38
水深（m）		8.8	24.3	29.4	18.8	27.0	39.0
透明度（m）		底まで	14.0	13.5	14.5	17.0	.18.0
水色		5	5	5	5	5	5
水温（℃）	表層	8.3	7.5	7.8	7.3	7.3	7.3
	2.5m層	8.3	7.5	7.9	6.9	7.2	7.3
	10m層	－	7.7	7.9	7.8	7.7	7.5
	15m層	－	7.9	8.0	7.9	7.9	7.9
	底層	8.2	8.1	8.1	8.0	8.1	8.2
塩分	表層	33.3	33.2	33.3	33.3	33.3	33.3
	2.5m層	33.6	33.4	33.5	33.3	33.3	33.3
	10m層	－	33.6	33.7	33.7	33.6	33.6
	15m層	－	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7
	底層	33.7	33.8	33.8	33.7	33.8	33.8
溶存酸素飽和度(%)	表層	102.6	104.5	104.5	104.3	103.5	103.5
	2.5m層	102.7	104.6	104.4	104.0	103.6	103.6
	10m層	－	105.0	103.8	103.6	103.7	103.6
	15m層	－	103.5	102.5	102.1	103.2	102.7
	底層	100.4	99.9	99.5	99.9	102.3	101.1

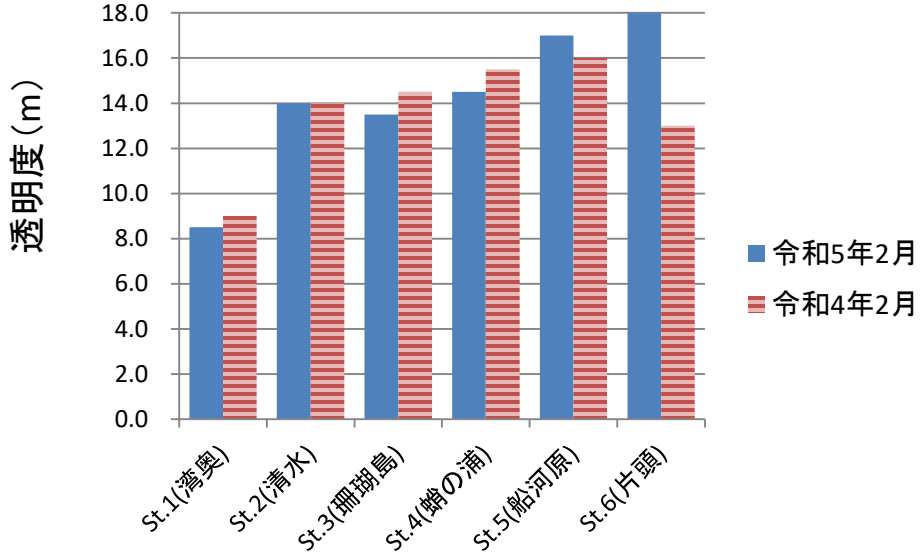


©岩手県（漁業権連絡図）

図1　大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6（○）において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
　St.AからSt.D（△）において表層0mから水深15mの水質を観測した。

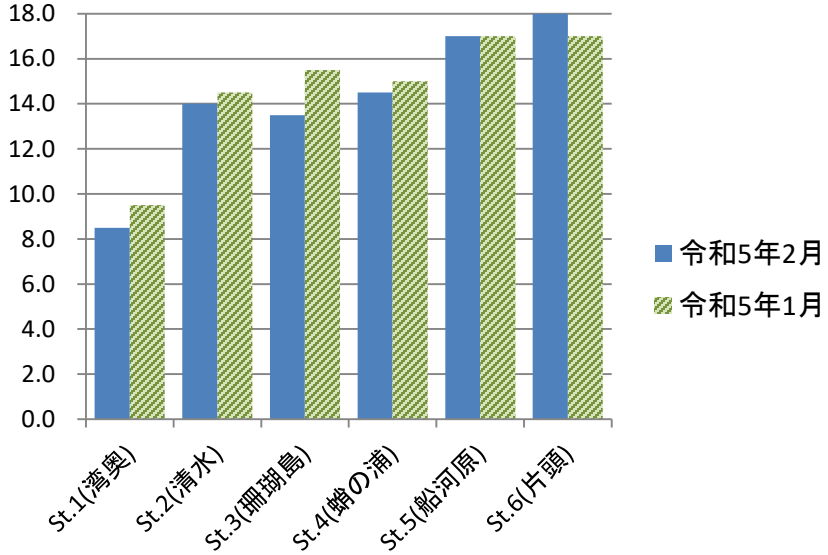
前年同月との比較



・St.1では海底まで見えていた

・St.5及び6は前年同月より高い

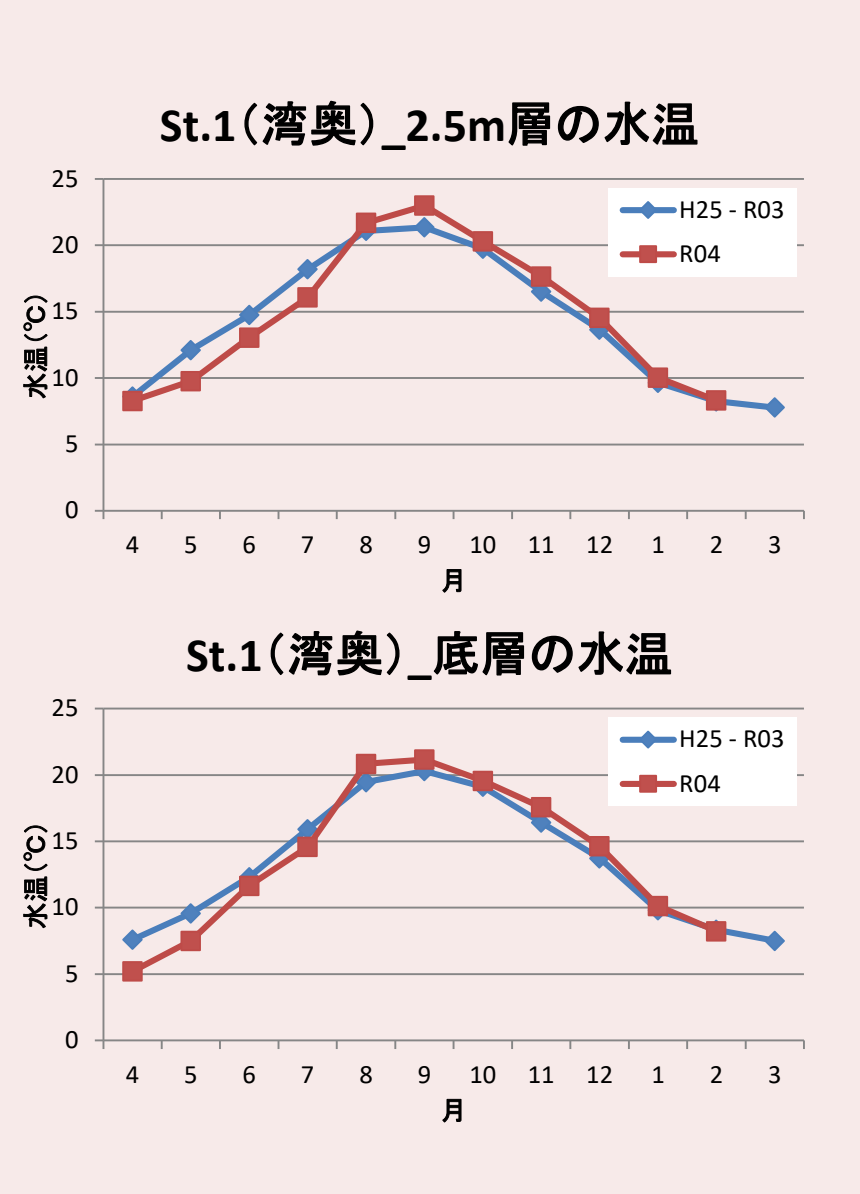
前月との比較



・St.1、2、3及び4は前月より低い

・St.6は前月より高い

図2　透明度の比較（前年同月、前月）



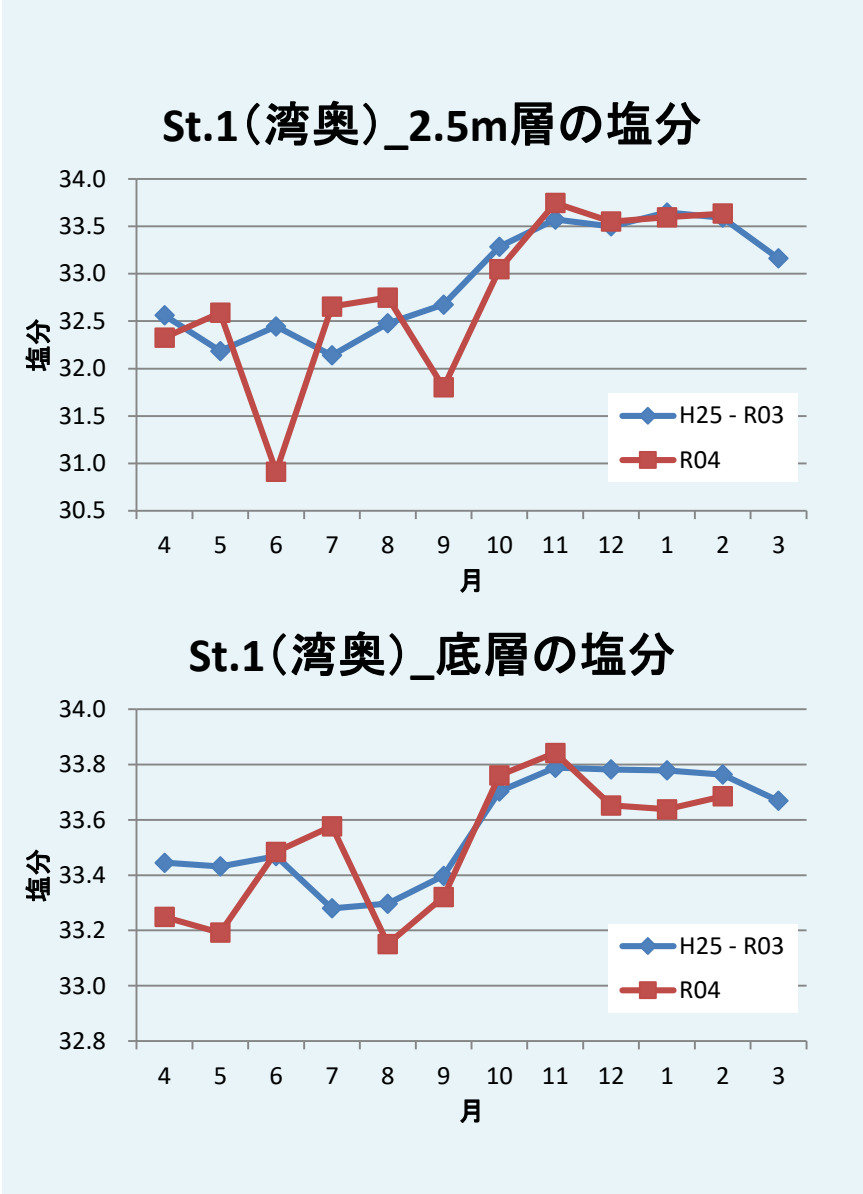
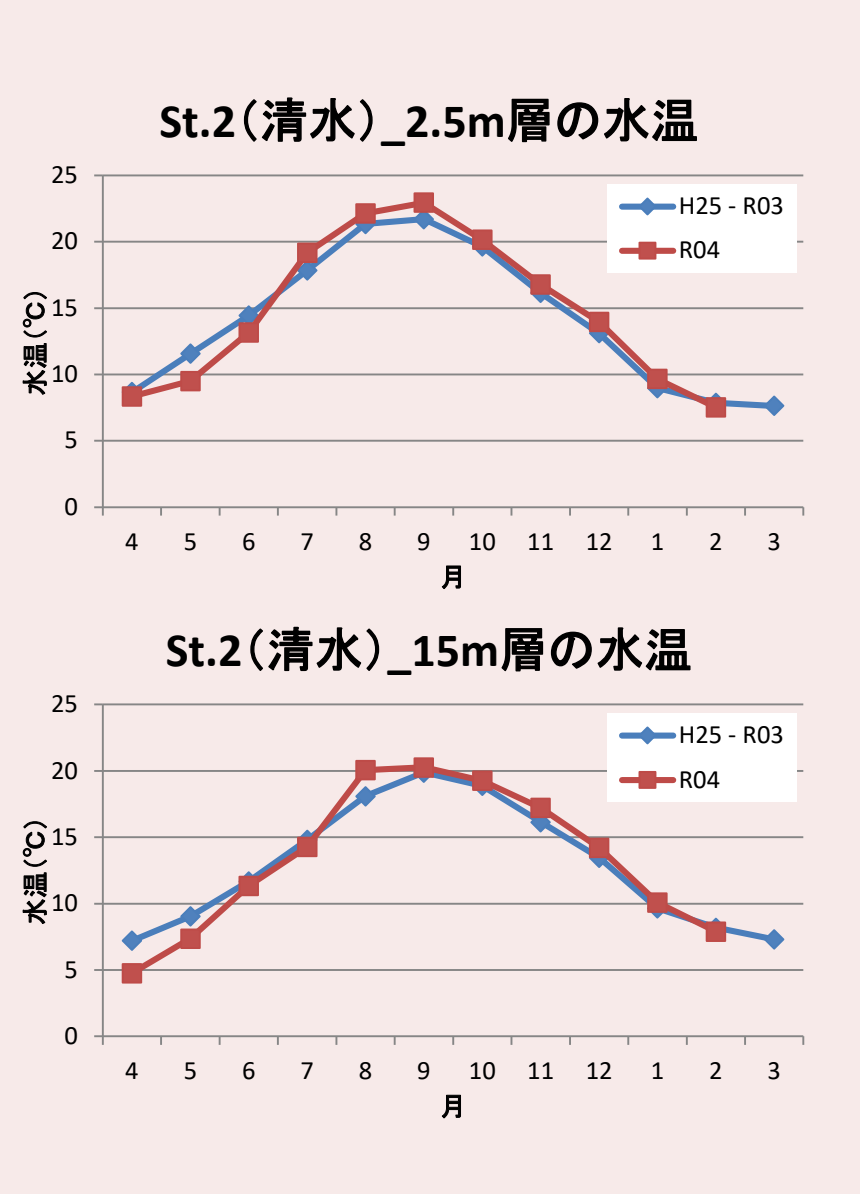


図3　St.1（湾奥）の水温及び塩分の推移

※St.1は水深10m未満



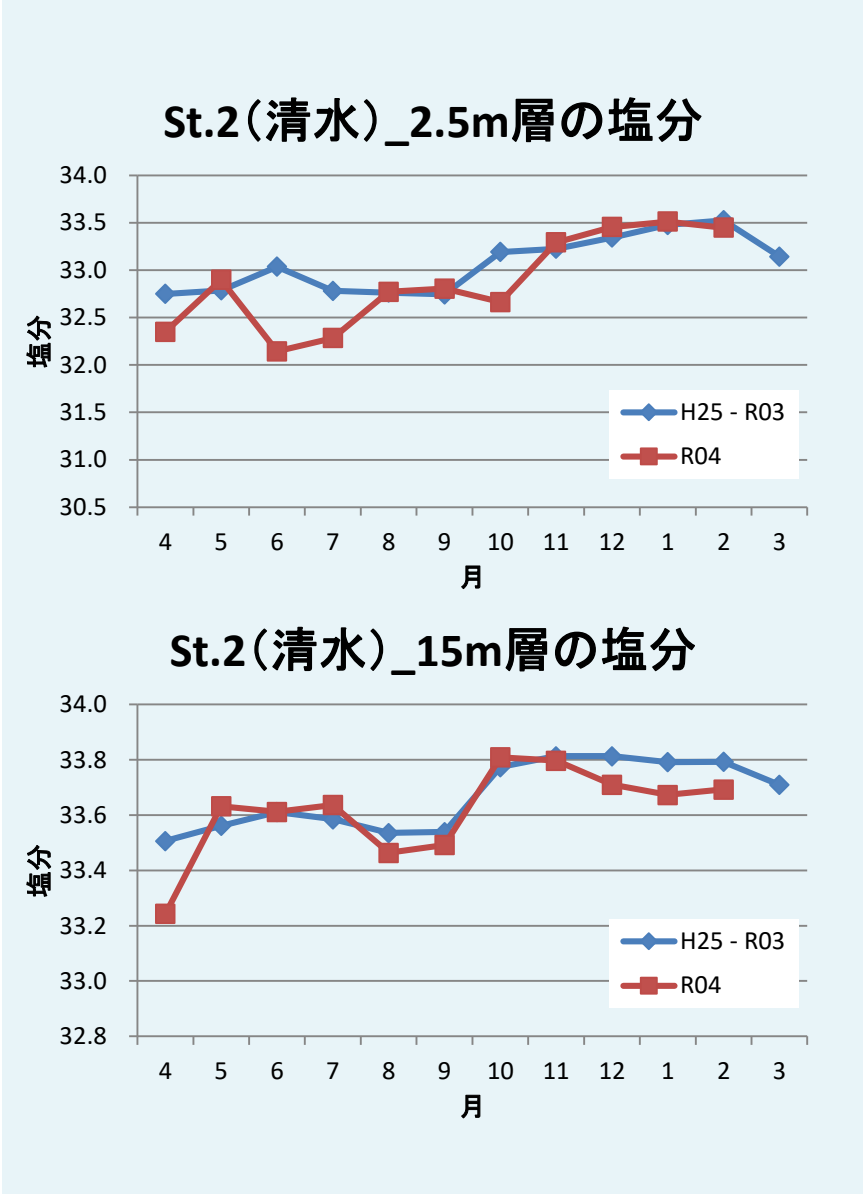


図4　St.2（清水）の水温及び塩分の推移

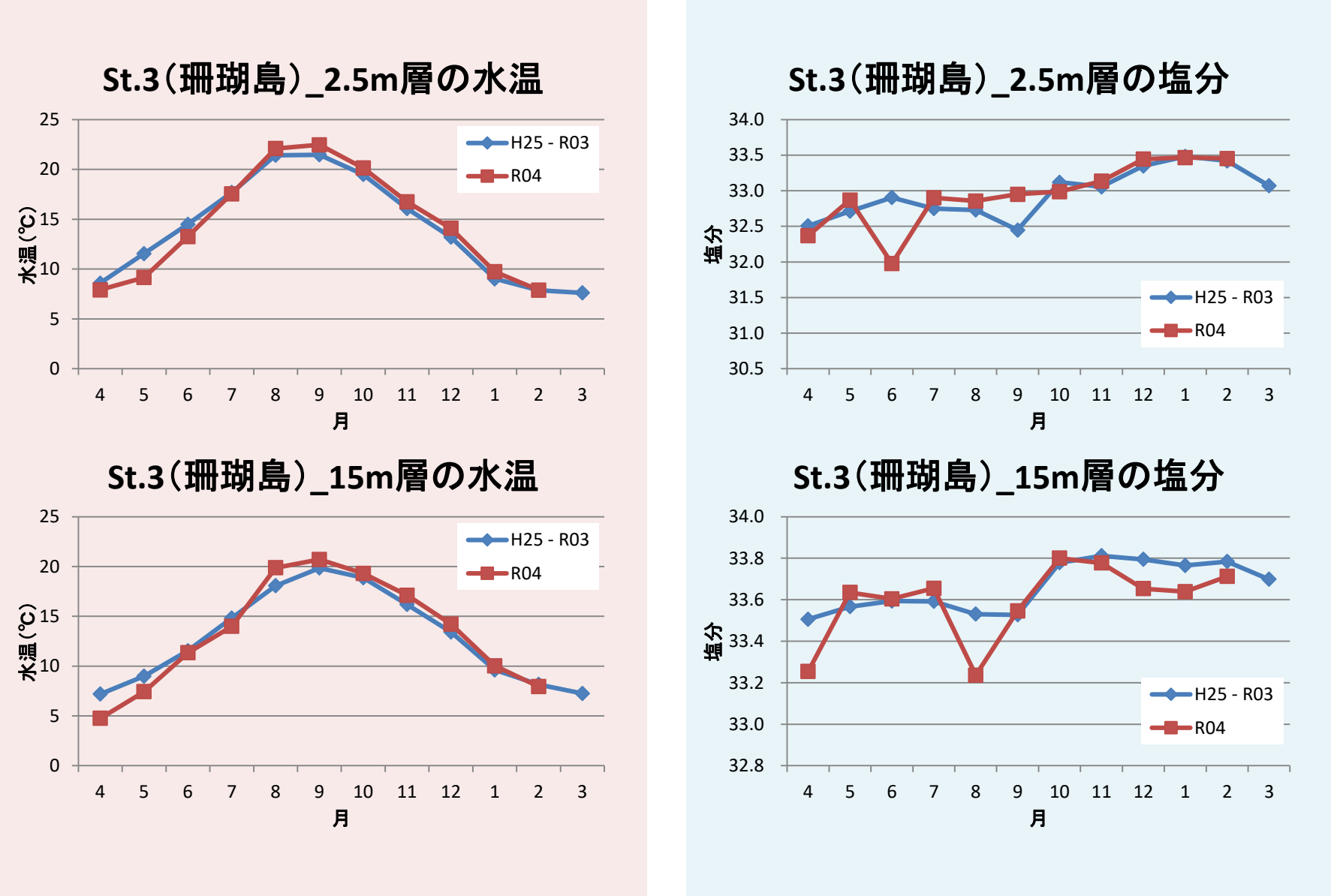
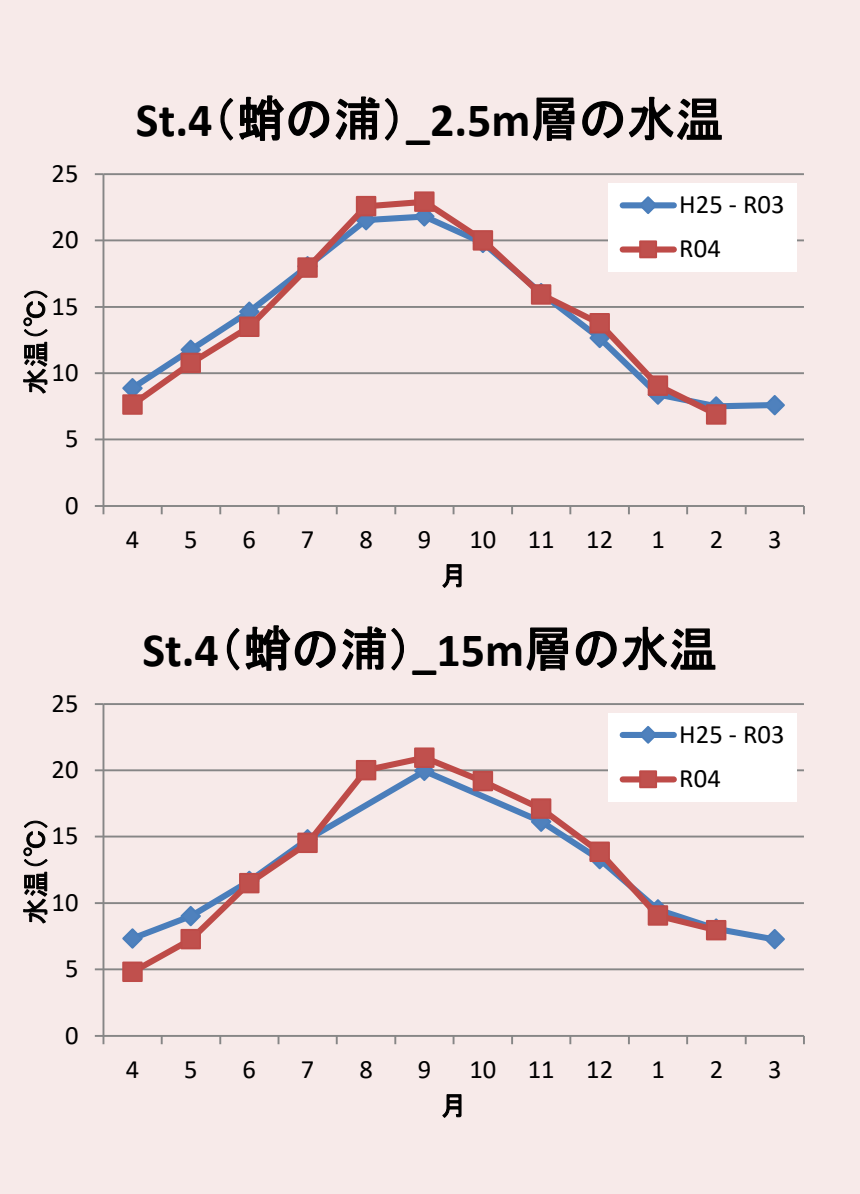


図5　St.3（珊瑚島）の水温及び塩分の推移



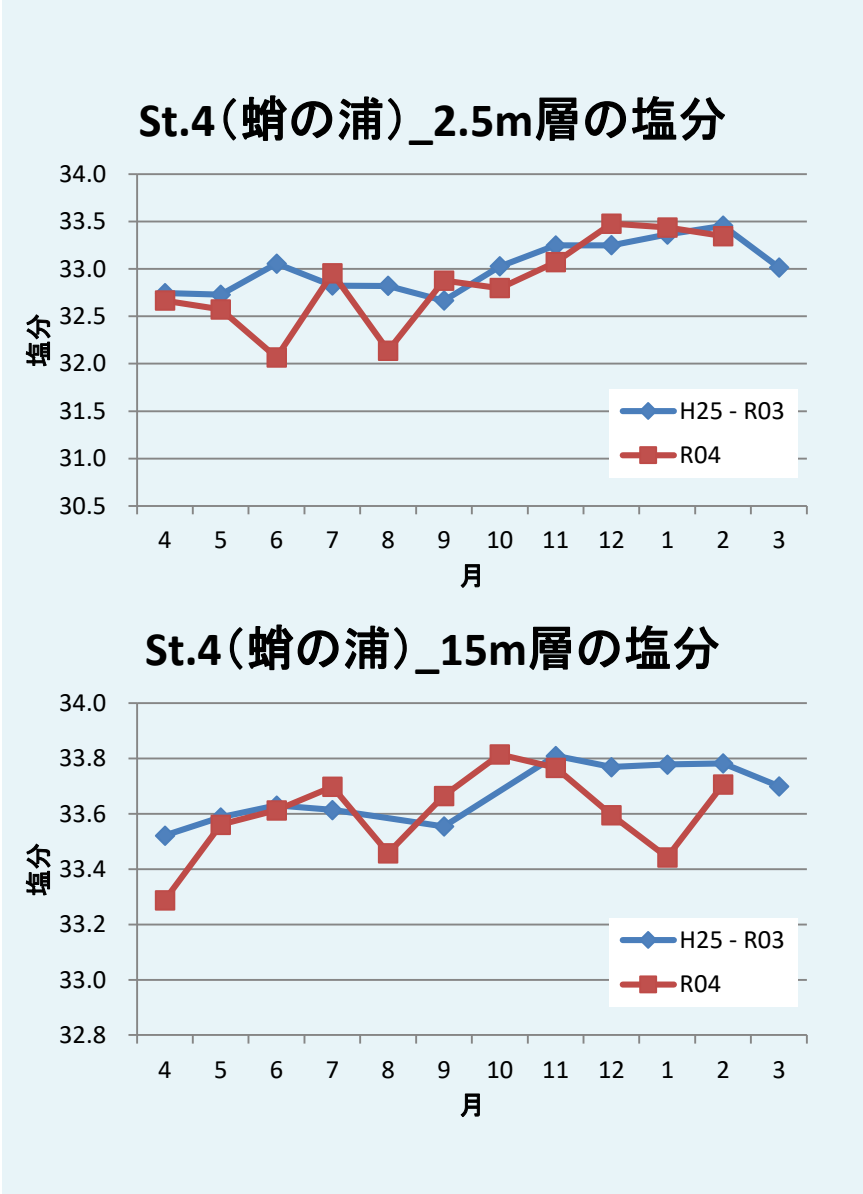


図6　St.4（蛸の浦）の水温及び塩分の推移

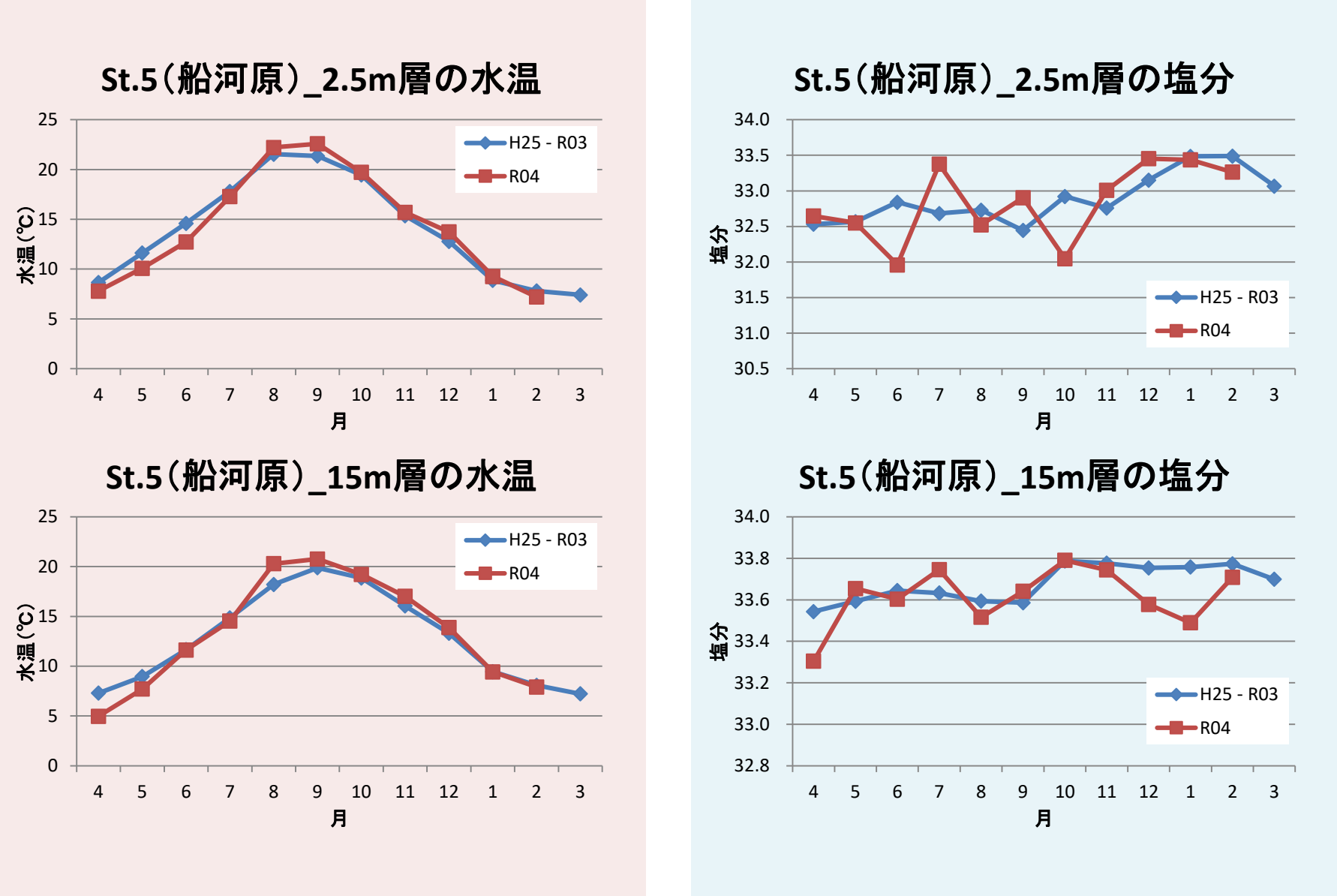
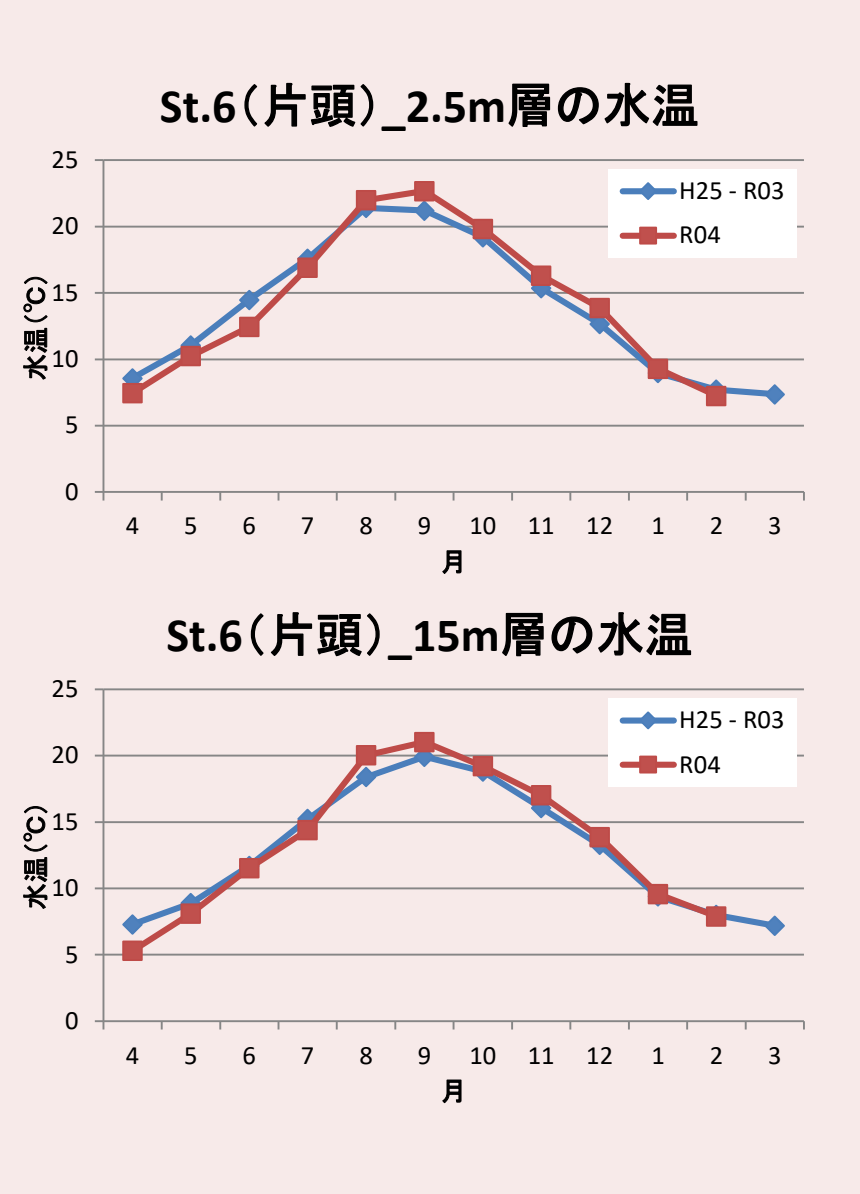


図7　St.5（船河原）の水温及び塩分の推移



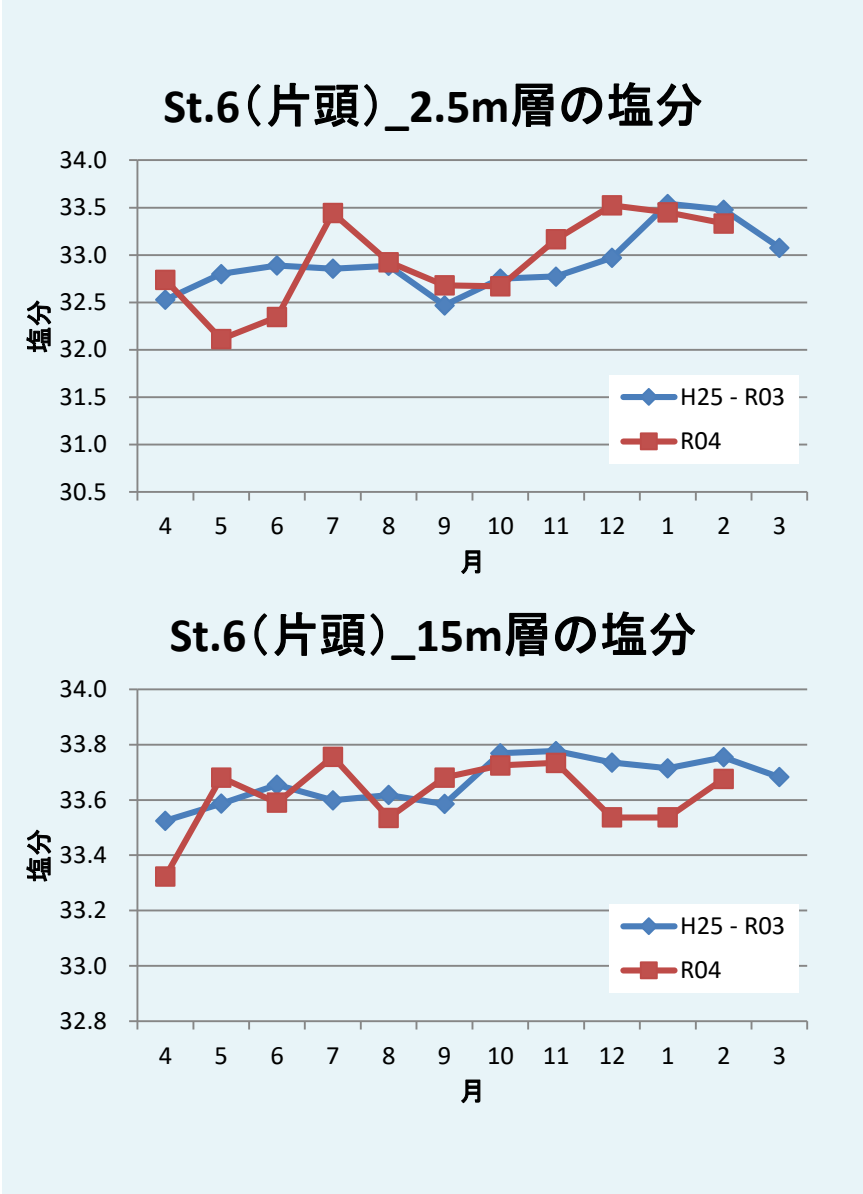
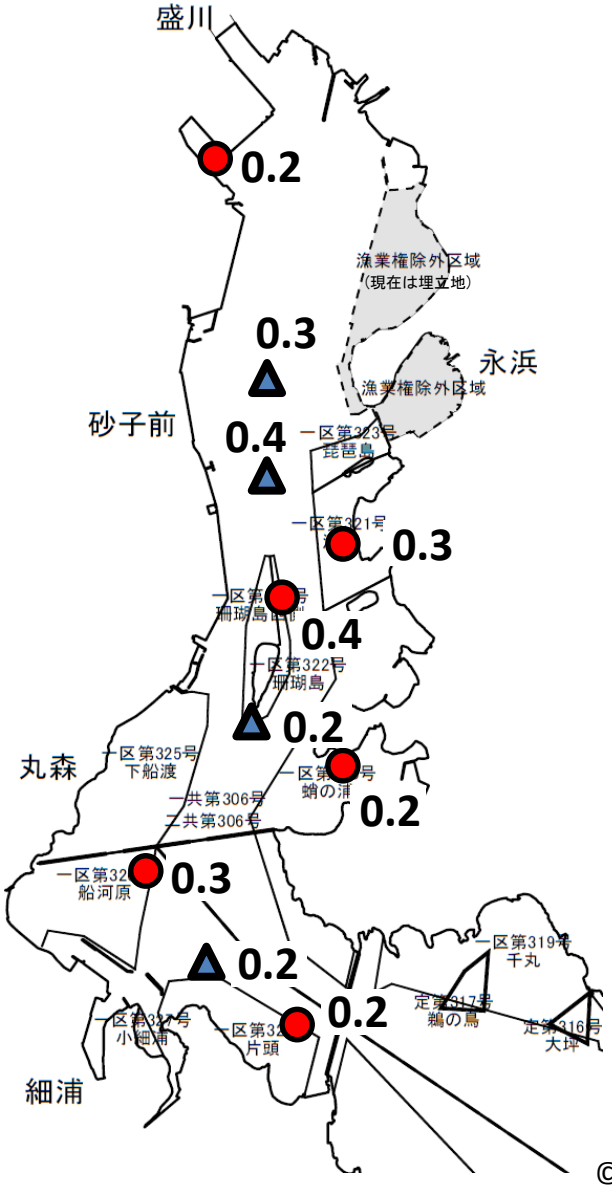


図8　St.6（片頭）の水温及び塩分の推移



©岩手県（漁業権連絡図）

図9　表層のクロロフィル量

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。

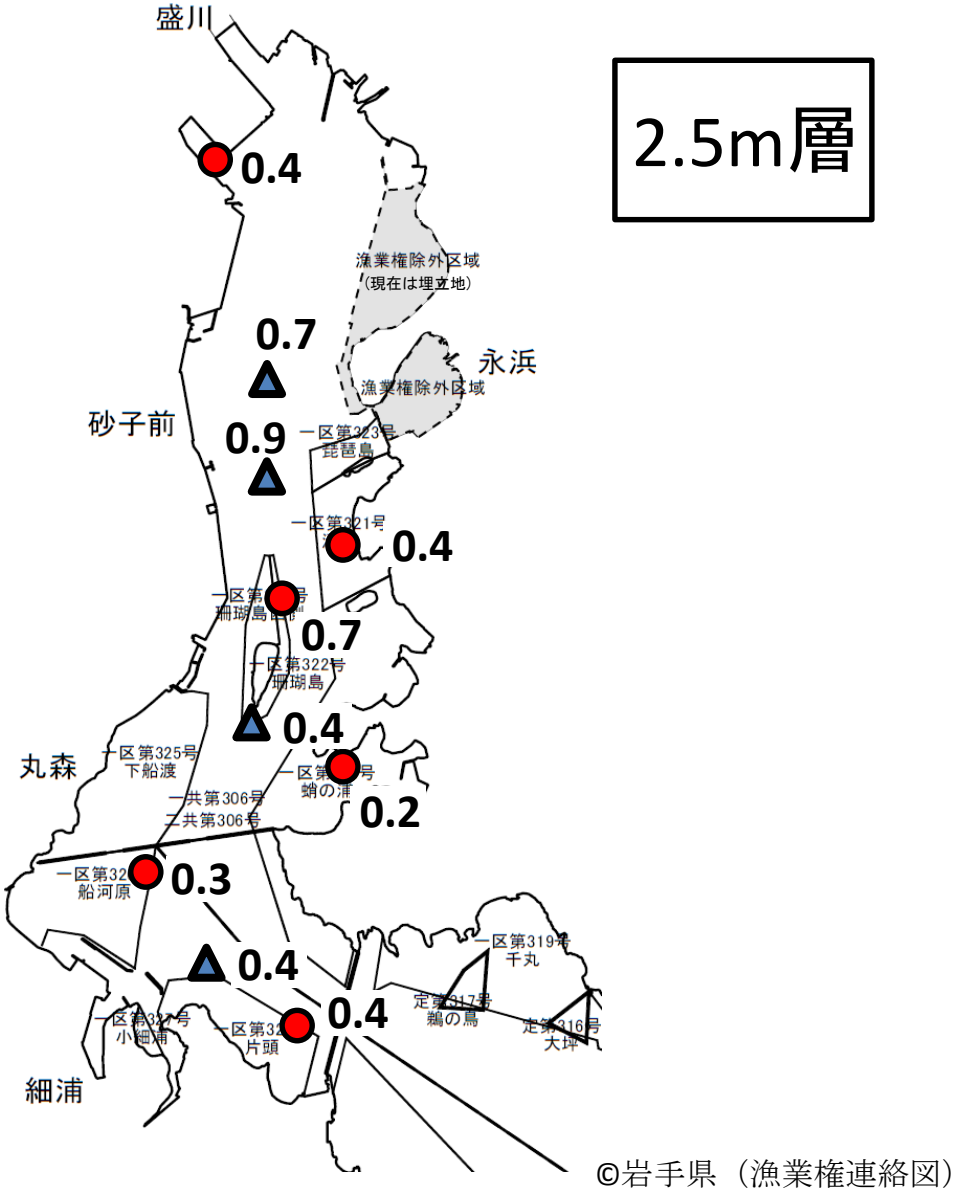
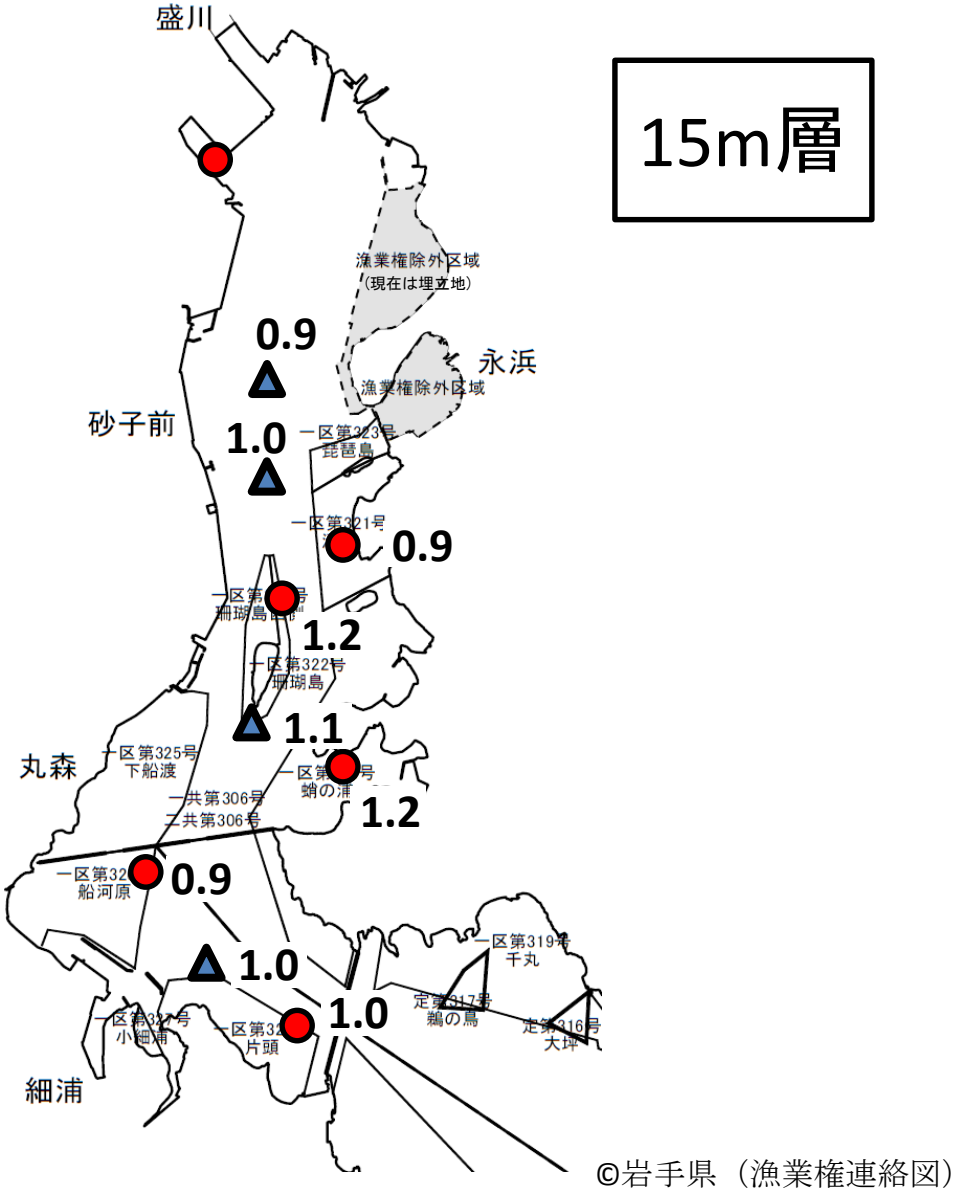


図10　2.5m層のクロロフィル量

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。



©岩手県（漁業権連絡図）

図11　15m層のクロロフィル量

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。St.1は水深約8mでした。